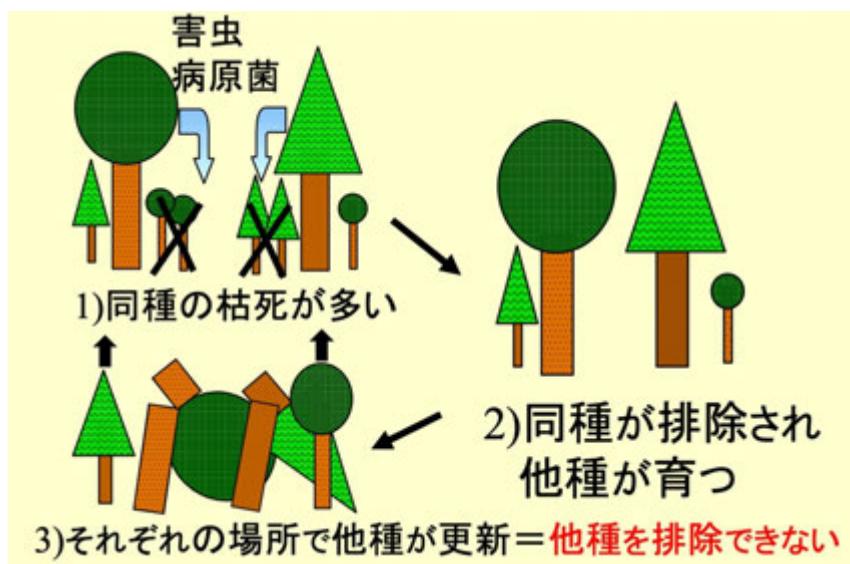


親木の下で 同種が育たないとしたら? 植物界における独占禁止法



講師 紺野康夫

十勝植物の会 代表
元帯広畜産大学大学教授

親木の下には、その木の子供が一番多く育つに違いない。なぜなら、その木の下に落ちる種子は、圧倒的にその木が成らせた種子が多いからである。

ところが、熱帯林では「その木の子供が沢山育ち、他種の子供は少ない、などということはない」とする主張が、ジャンセンとコンネルによって、1970年の始めに一つの仮説として提出された。彼らによれば、だから熱帯林は多様な樹種が育つ、と言うわけである。

では、温帯の日本ではどうだろうか? 東北の落葉樹林で調べられた研究と、私たちが帯広のヤチダモ、ハルニレ、ハンノキ林で調べた研究を紹介することにする。

これらの研究は、植物界における、独占禁止法を調べる事でもある。

2025年
4月19日 (土)

- ▶ 時間 14:00~15:30
- ▶ 場所 浦幌町立博物館

入館無料
申込不要



浦幌町立博物館

The Historical Museum of Urahoro

お申し込み・お問い合わせ: 電話 015-576-2009
〒089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1(図書館併設・役場となり)
E-mail: info@museum-urahoro.jp / <https://museum-urahoro.jp>